

攻めの林業を主軸とした地方創生
～『Innovation of Tsubetsu』～

平成28年3月5日
山田 大輔

0. 目次

1. まちづくりに向けた課題の整理
2. 津別町存続のキーワード『林業』
3. 『Innovation of Tsubetsu』のご提案
4.

〔STEP①安定した雇用の創出〕	愛林ブランド×五輪×万博
〔STEP②新しい人の流れの創出〕	林業ベンチャー
〔STEP③次世代への投資〕	林業男子×木育保育所
〔STEP④特長をいかした地域づくり〕	若者目線×客貨混載バス



1. まちづくりに向けた課題の整理

❖津別町は、「日本創生戦略(座長・増田元総務相)」が発表した『消滅可能性都市※』に該当。津別町を存続させる為には、町民の要望をまちづくりに反映させることで他都市への流出を防ぐとともに、新しいひとの流れを創出していく必要がある。

※2010~2040年で、20~39歳の女性の人口が5割以上減少し、存続が危ぶまれると指摘された自治体

❖町民の行政に対する要望事項は、「**居住環境の充実**」「**雇用環境の改善**」「**少子高齢化に向けた取組**」の3点に大別される。津別町総合戦略は、こうした要望事項を反映した計画となっているが、**限られた経営資源をどう投入していくか**が実現に向けたポイント。

[表1]町民の要望事項(人口ビジョンアンケートより筆者作成)

居住環境の充実
<ul style="list-style-type: none">・買い物環境の充実(食料品や日用品)・交通インフラ(バス等)の改善・医療サービスの充実・娯楽施設、飲食店の充実
雇用環境の改善
<ul style="list-style-type: none">・安定した収入の確保・やりがいのある仕事
少子高齢化に向けた取組
<ul style="list-style-type: none">・医療サービスの充実・福祉サービスの充実

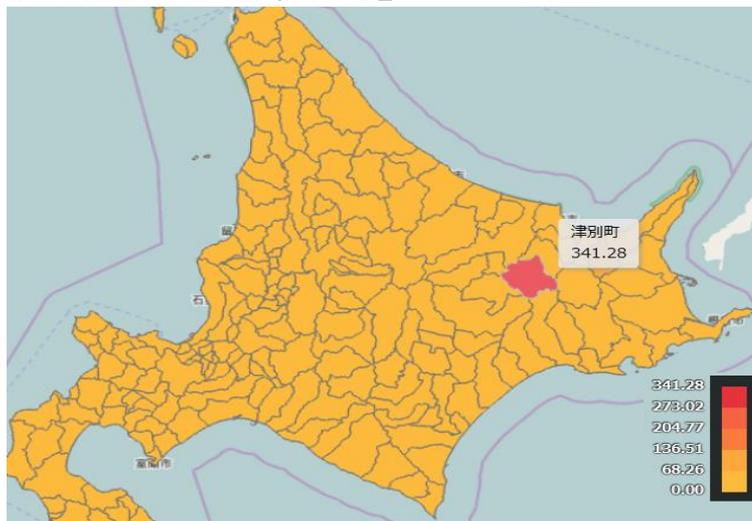
[表2]津別町総合戦略_基本目標

①安定した雇用の創出
<ul style="list-style-type: none">・地場産業振興(主に林業&木材加工業)・福祉関連事業支援 等
②新しいひとの流れの創出
<ul style="list-style-type: none">・首都圏の自治体交流活性化、企業のサテライトオフィス誘致 等
③次世代への投資(結婚・出産・子育て)
<ul style="list-style-type: none">・子育て環境の整備、出会いの場の提供 等
④特長を生かした地域づくり
<ul style="list-style-type: none">・コンパクトシティを標榜

2. 津別町存続のキーワード『林業』

- ❖ 地域経済分析システム「RESAS」によると、**津別町の『稼ぐ力』は木材・木製品製造業**。同製品の付加価値額が全国的に高い水準にある北海道内においても、トップクラス。
 - 上記以外に、豊富な山林資源を背景に、未利用木材や工場残材を利活用したバイオマス事業等の林業に関連する事業が盛ん。
 - 一方、その根幹を支える林業は、人口の減少や従事者の高齢化に伴い、後継者問題等の課題を抱えており、**津別町を存続させる為には『林業』を活性化させる必要あり**。
- ❖ 昨今の**環境志向**や、林野庁による**『森林・林業再生プラン』**(木材自給率の向上・雇用の確保を企図)、**『公共建築物等木材利用促進法』**等の政策展開により、林業は追い風が吹いている状態であり、この機会を逃す手はない。

〔図1〕津別町の『稼ぐ力』



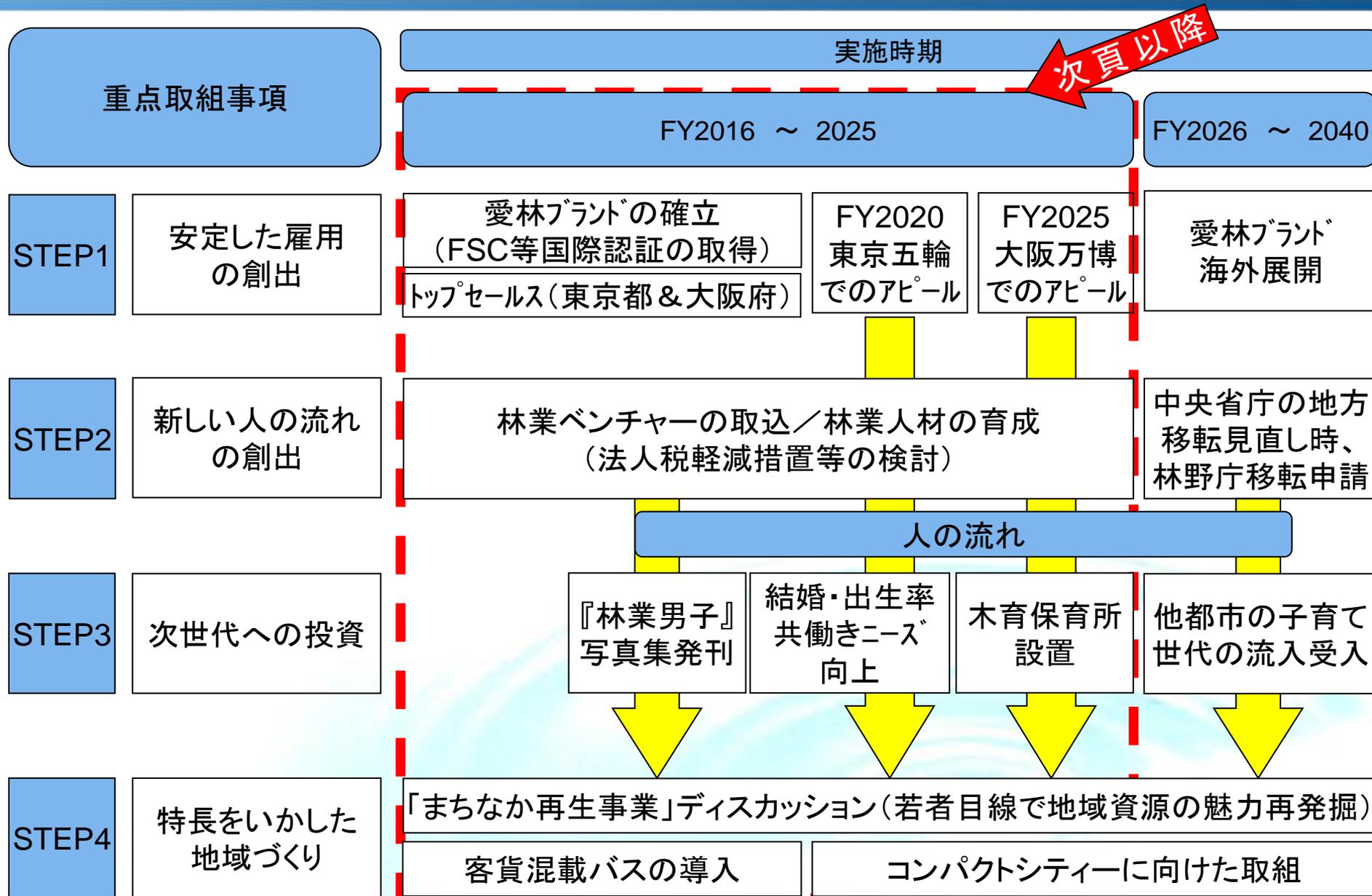
木材・木製品製造業特価係数(付加価値額)
@2012年

〔図2〕映画『WOOD JOB!』



林野庁の施策「緑の雇用」をモデルとした映画
『WOOD JOB!』も好評価

3. 『Inovation of Tsubetsu』のご提案



4. [STEP①安定した雇用の創出] 愛林ブランド×五輪×万博

- ❖東京2020オリンピック招致委員会は、**競技大会関係施設における木材利用を公約して大会を誘致**。昨年10月より、関係府省庁がワーキングチームを発足させ本格検討中。ーメイン会場となる新国立競技場の建設計画(2015年12月決定)では、国産のスギやカラマツを中心に、約2千立方メートルの木材を使用する見込。
- ❖津別町は、競技会場となるお台場海浜公園を有する**港区と、『国産木材の活用促進に関する協定』を締結済**。同協定を基に施設整備に必要な木材を提供し、**国内外にアピール**することで、津別町木材の需要が増加(⇒雇用の創出に寄与)。
- ❖また、2025年に予定されている国際博覧会(万博)の大阪誘致も本格検討(松井知事)されており、**中長期的に需要が見込める可能性有**。

[図3]新国立競技場イメージ



「木と緑のスタジアム」をテーマに、木材を利用した和の雰囲気の建物

[図4]お台場海浜公園



大会時には競技の為の仮施設を整備 [実施競技]トライアスロン・水泳(10kmマラソン)

[図5]太陽の塔

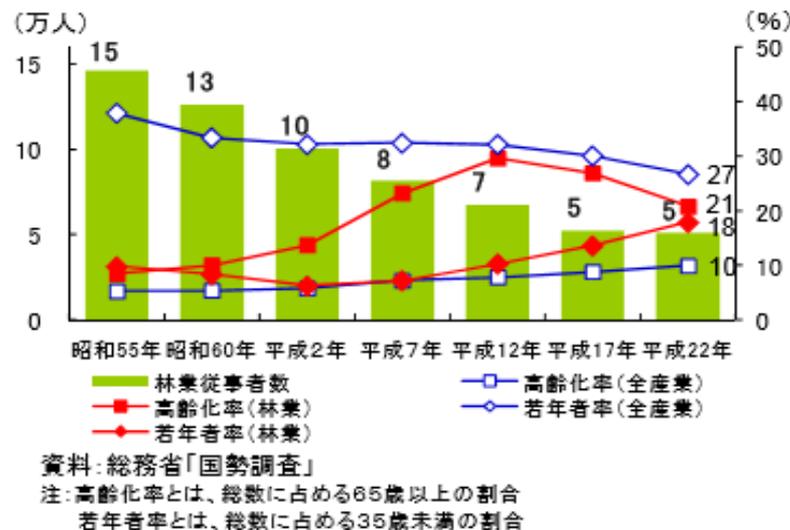


万博跡地や舞洲など、計6ヶ所の開催候補地を検討中

4. [STEP②新しい人の流れの創出] 林業ベンチャー

- ❖東京オリンピック関連施設における木材アピールにより、国産木材の特需が期待されるが、一過性のものにしない為に、林業界に横たわる構造的な課題である「深刻な人材不足※」の解消要。※総務省統計によると、林業従事者は約7万人(2012年時点/1990年から約3割減)。
- ❖一方、近年、政府の林業推進施策(木材利用・人材雇用)や地方創生の観点から、林業に対する若年者の意識も変化しつつあり、林業ベンチャーを起業するケースも出てきている。
- ❖上記の林業に対する関心の高まりを、**法人税軽減措置等の対応も検討をしながら、津別町に取り込んでいくことで新しい人の流れを創出することが出来る**と考える。
 ー津別町にある空き家は、リノベーションを行うことで流入してきた人達の居住に。

[図6]林業従業者数



[表3]地公体の取組事例

岡山県	西粟倉村(人口1,500人)
<ul style="list-style-type: none"> ・西粟倉村が「百年の森林構想」を策定 ・山林の所有者が森林の管理を村役場に委託し、森林組合が間伐。丸太を村のベンチャー企業が買い取り、商品を加工・販売 ・伐採から商品化まで全て村内で行う全国でも珍しい取組 ・この取組に惹かれ、移住してくる若者(5年で約50人)が林業ベンチャーを起業する好循環に 	

4. [STEP③次世代への投資] 林業男子×木育保育所

❖津別町存続の第2の鍵は、**全国的にも高い希望出生率※の実現**にあり、その為には、**津別町内での結婚を推進する必要がある**。

※安倍首相が『新3本の矢』で目指す出生率1.8を大幅に超える2.11(人口ビジョンアンケートから)

❖STEP①②で流入してきた林業に従事する男性を『**林業男子(仮称)**』のような写真集にし、**全国で販売(町内には無料配布)**することで、町内での結婚を推進。

また、町内で新婚生活を始める夫婦には、**家賃補助を行う等の財政的支援も検討**。

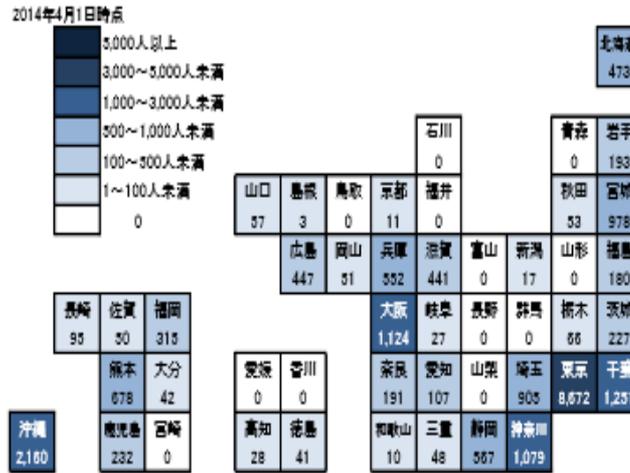
❖上記取組によって希望出生率が実現した場合には、**女性の(再)就業ニーズも喚起される**ことから、**「愛林ブランド木材を使った木育保育所」の設置等、待機児童への対策も**。

[図7]『林業男子』イメージ



大阪市の外郭が紹介するものづくり企業で働くイケメンを特集

[図8]待機児童の分布状況(左)と、無印良品が展開する「木育広場」(右)



4. [STEP④特長をいかした地域づくり] 若者目線×客貨混載バス

❖STEP①～③に取り組んだ結果、津別町へ流入してくる人口の増加に伴って、スーパーや娯楽施設、医療サービスの事業者参入が見込まれる為、居住環境の改善が図られる。
一更に魅力的なまちづくりをする為(空き家の有効活用等)には、**若者目線で地域資源の魅力を再発掘する必要性があり**、住民や高大連携とのワークショップや筑波大学との協業は非常に有効。

❖喫緊の課題である交通インフラの改善については、「地域公共交通活性化協議会」で検討されていた『**デマンド交通**』の導入に加え、津別まちバスを活用した『**客貨混載バス**』**※の導入**を検討。

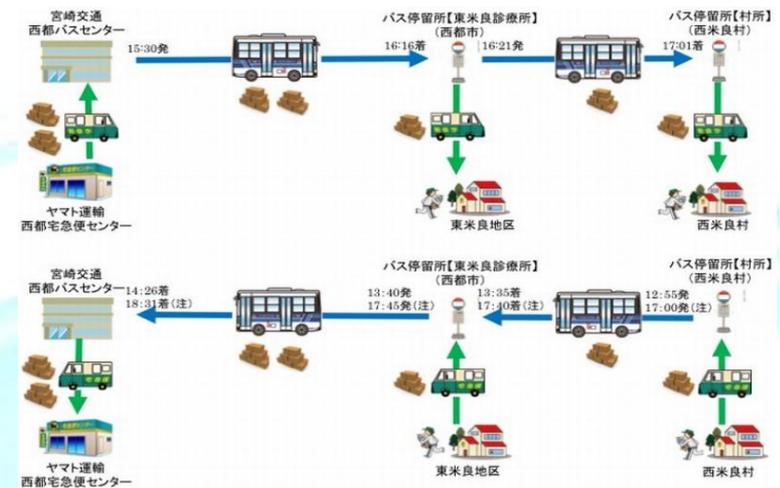
※路線バスを活用して宅配便の荷物を輸送する取組。過疎地域のバス路線網の維持とともに、物流の効率化が期待できる他、宅配員が高齢者の安否確認・買い物支援をすることも可能。

[図9]まちなか再生事業スキーム(出典:貴町HP)



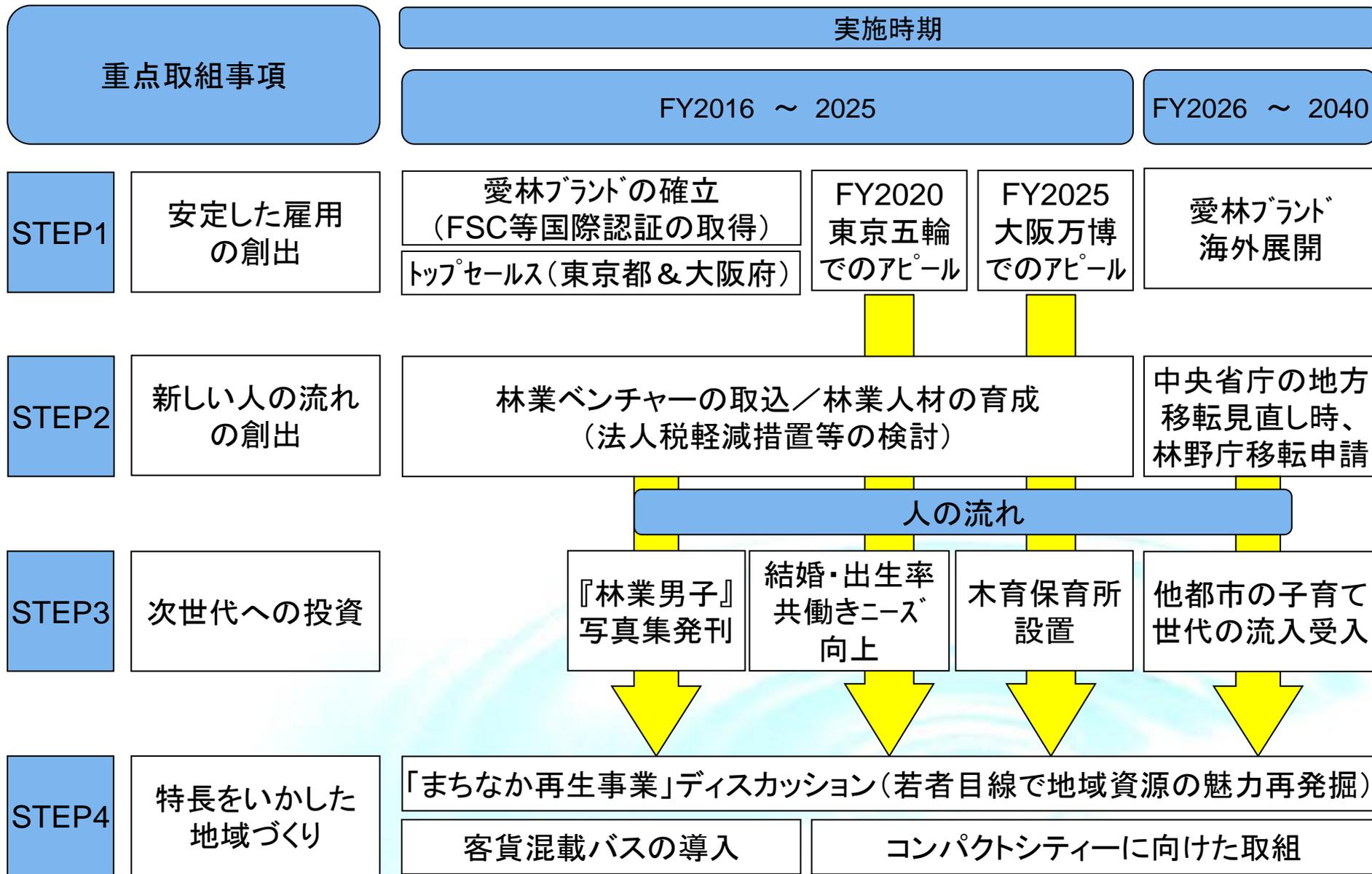
地方創生☆政策アイデアコンテスト(内閣府主催)にて、筑波大学生が津別町を題材に地方創生大臣賞を受賞

[図10]客貨混載バス運用イメージ



宮崎県西米良市その他、岩手県でも導入事例有(上図の出典はヤマト運輸)

『Inovation of Tsubetsu』のご提案(再掲)



ご清聴ありがとうございました。

